

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2 年間学習計画と単元(題材)

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標(ねらい)
1 学 期	4	<地理> ・世界と日本の地域構成	・世界の姿 ・日本の姿	(知) 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などから世界の地域構成を大観し理解できる。 (思) 世界の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し表現できる。
	5	・世界のさまざまな地域	・人々の生活と環境	(知) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色から日本の地域構成を大観し理解できる。 (思) 日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し表現できる。
	6			(知) 人々の生活は自然、社会的条件から影響を受けたり与えたりすることが理解できる。 (知) 世界の人々の生活や環境の多様性を理解できる。
	7			(思) 世界各地における人々の生活の特色、変容の理由を多面的・多角的に考察し表現できる。
	8		・世界の諸地域 アジア・ヨーロッパ アフリカ・北アメリカ 南アメリカ・オセアニア	(知) 世界各地の地球的課題は地域的特色の影響を受けて現れ方が違うことを理解できる。 (知) 各州の地域的特色を大観し理解できる。
2 学 期	9		南アメリカ・オセアニア	(思) 世界の各州において、地球的課題の要因や影響を多面的・多角的に考察し表現できる。
	10	<歴史> ・歴史のとらえ方と調べ方	・私たちと歴史 ・身近な地域の歴史	(知) 年代の表記、時代区分の意味、意義の基本的内容を理解できる。 (知) 資料から歴史に関わる情報を読み取りまとめる技能を身に付けることができる。 (思) 歴史上の人物、文化財、出来事などを時代区分との関わりなどから考察し表現できる。
	11	・原始・古代の日本と世界	・文明のおこりと日本列島 ・古代中国と「倭」の王権 ・大帝国の出現と律令国家の形成 ・貴族社会の発展	(知) 地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりする技能を身に付けることができる。 (思) 身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現できる。
	12	・中世の日本と世界	・武家政治の始まり ・ユーラシアの動きと武家政治の変化	(知) 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりを理解できる。 (思) 古代の社会の変化の様子、古代までの日本を大観して時代の特色を多面的・多角的に考察し表現できる。
				(知) 武家政治の成立とユーラシアの交流や、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成を理解できる。

3 学 期	1	・近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・結びつく民衆と下克上の社会 ・結びつく世界との出会い ・天下統一への歩み ・幕藩体制の確立と鎖国 ・経済の成長と幕藩の改革 	(思) 中世の社会の変化の様子、中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現できる。
	2			(知) 世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開を理解できる。
	3			(思) 近世の社会の変化の様子、近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し表現できる。

3 評価方法

各観点	評価規準	評価方法
知識・技能	我が国の国土と歴史に関して理解できており、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能が身に付いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリント ・小テスト ・定期考査
思考・判断・表現	地理・歴史的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、表現できている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・授業プリント ・提出物
主体的に学習に取り組む態度	地理・歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求し解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度や学習に積極的に取り組む態度 ・授業中の発言 ・提出物

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・発表も積極的におこなうこと。
- ・わからないところは自ら先生に質問したり、調べたりしましょう。
- ・集中して授業に臨み、先生の話や仲間の意見から学びましょう。
- ・板書されたものをプリントに書くだけでなく、先生の話からプリントにメモを取りましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・授業の予習をしておくとう授業の内容が理解しやすくなります。
- ・単元ごとにしっかりと復習をしましょう。
- ・提出物は提出期限を守り、必ず提出するようにしましょう。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・まずは教科書をしっかり読んで、学習してきたことを理解しましょう。
- ・ワークは何度もやって問題を解くことに慣れることは大切です。繰り返しやりましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・授業に集中し、その日のうちに授業内容を復習し、理解を深めましょう。
- ・単元ごとに、自分でワークなどを進めるのも1つの方法です。積極的に取り組み好きになることが成績を伸ばす近道になります。